

(2) シェルスクリプトの作成

Web サーバをインストールしても、初期設定のままでは CGI を動作させることはできません。以下の設定ファイルに CGI 動作に関する記述を書き加える必要があります。

```
Vine Linux2.0 (デフォルト) の場合
/etc/httpd/conf/ディレクトリ内の
httpd.conf..... サーバの基本動作
access.conf..... アクセス制御
srm.conf..... 提供する情報の詳細を制御
```

そこで、CGI に関する記述を書き加えた設定済ファイルを既存のファイルに上書きするコマンドをシェルスクリプトにまとめました。さらに手順を簡素化するため、設定済みの httpd.conf, access.conf,

srm.conf を 1 つのファイルに圧縮しました。これにより、シェルスクリプトファイル (拡張子.sh) と圧縮された設定ファイルの 2 つをサーバにアップロードし、シェルスクリプトを実行させるだけで、サーバの設定を完了できるようになりました。

```
CGI動作設定シェルスクリプト apache_conf.sh
#!/bin/csh
→Cシェルを用いることを宣言
mkdir apache_conf_bak
→既存の設定ファイルをバックアップするディレクトリを作成
set httpd_conf=`find / -name "httpd.conf" -print`
→httpd.confの場所を検索
cp $httpd_conf ./apache_conf_bak/httpd.conf.bak
→検索されたhttpd.confを作成したバックアップ用ディレクトリにコピー
set access_conf=`find / -name "access.conf" -print`
cp $access_conf
./apache_conf_bak/access.conf.bak
→access.confを検索, コピー
set srm_conf=`find / -name "srm.conf" -print`
cp $srm_conf ./apache_conf_bak/srm.conf.bak
→srm.confを検索, コピー
gzip -dc ./apache_conf.tar.gz | tar xvf -
→圧縮しておいた設定済みファイルを解凍
mv f ./apache_conf/httpd.conf $httpd_conf
mv f ./apache_conf/access.conf $access_conf
mv f ./apache_conf/srm.conf $srm_conf
→解凍された設定ファイルをそれぞれ既存のファイルに上書き
set httpd_pid=`find / -name "httpd.pid" -print`
kill -HUP `cat $httpd_pid`
→設定を反映させるため, Apacheを再起動
```

```
掲示板CGI設置シェルスクリプト bbs_set.sh
#!/bin/csh
→Cシェルを用いることを宣言
set doc_root=`grep "DocumentRoot/"
/etc/httpd/conf/srm.conf | awk '{print $2}'`
→srm.confファイルからWebページを設置するディレクトリ (ドキュメントルート) を検索
cp ./wforum.tar.gz $doc_root/wforum.tar.gz
→掲示板のファイルを検索されたドキュメントルートにコピー
cd $doc_root
→ドキュメントルートに移動
gzip -dc ./wforum.tar.gz | tar xvf -
→圧縮されていた掲示板のファイルを解凍
cd ./wforum
→解凍された掲示板のディレクトリに移動
echo -n "BBS Name?"
→掲示板の名前を聞くダイアログ表示
set title=$<
→掲示板の名前を入力
sed "s/Web Forum Base/$title/"wforum.cgi.base
>wforum.cgi
→cgiファイル内の掲示板名を変更
chmod 755 ./*.cgi
chmod 666 ./1.html
chmod 666 ./*.log
chmod 666 ./*.dat
→各ファイルのパーミッションを変更
```